

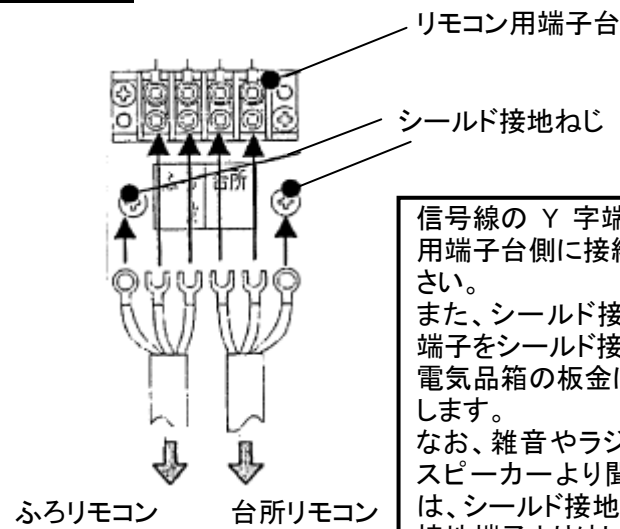
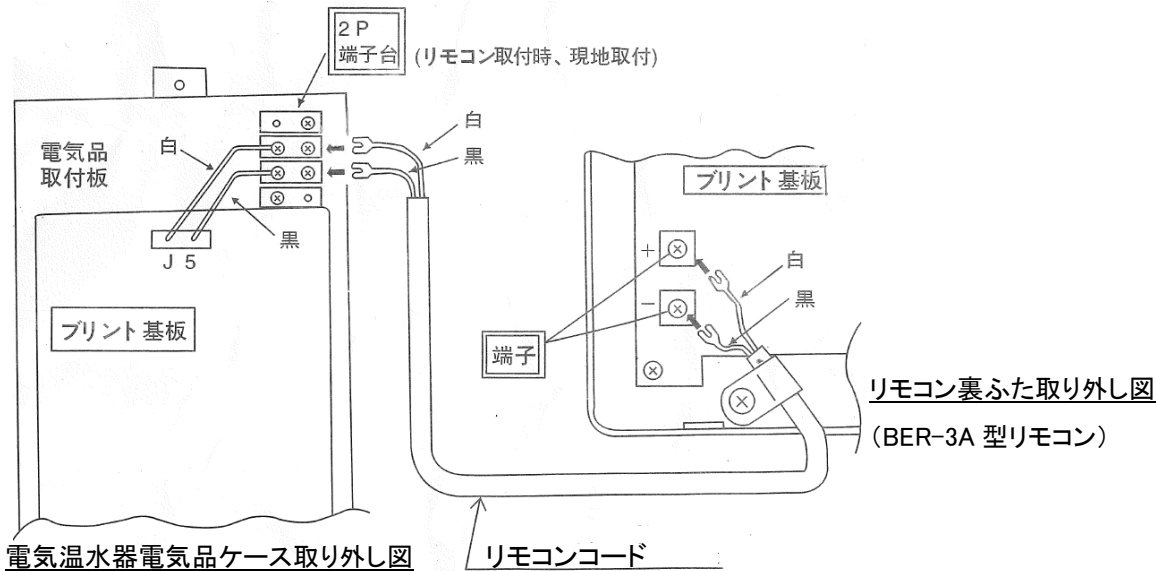
リモコンコードの接続について

リモコンコードの両端末に、信号接続用のY字端子とシールド接地用丸形端子が付いております。
 ご使用の電気給湯機により、シールド接地用丸形端子の処理方法が異なりますので、給湯機の機種をご確認うえ、端末を処理願います。

1. BER-3A 型リモコン+電気温水器

電気温水器の電気品ケース内の2P端子台とリモコン内部(プリント基板)端子とを接続します。極性を間違えると運転できませんので、コードの色にご注意して接続してください。(下図参照)

詳細については、リモコンの据付工事説明書に記載してあります。

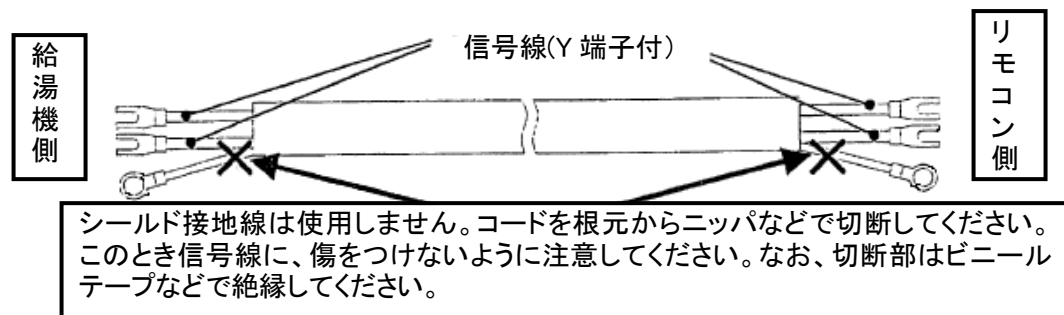


信号線の Y 字端子をリモコン用端子台側に接続してください。
 また、シールド接地線の丸形端子をシールド接地ねじで電気品箱の板金に接続します。
 なお、雑音やラジオの音声がスピーカーより聞こえる場合は、シールド接地線をシールド接地端子より外してください。

注意
 シールド接地線は必ずシールド接地ねじで接地してください。接地が不完全な場合、リモコンの誤作動やテレビなど他の家電品にノイズがのる原因になります。

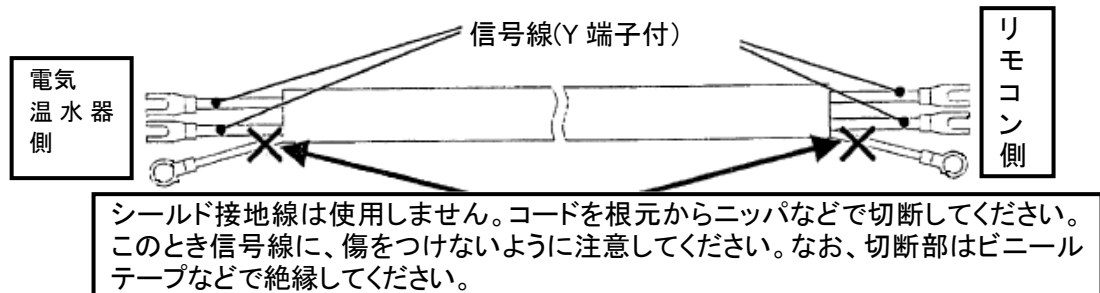
給湯機側詳細図

(2)給湯機側のシールド接地線とリモコン側のシールド接地線を使用しない場合



シールド接地線は使用しません。コードを根元からニッパなどで切断してください。このとき信号線に、傷をつけないように注意してください。なお、切断部はビニールテープなどで絶縁してください。

リモコンコードの端末処理図

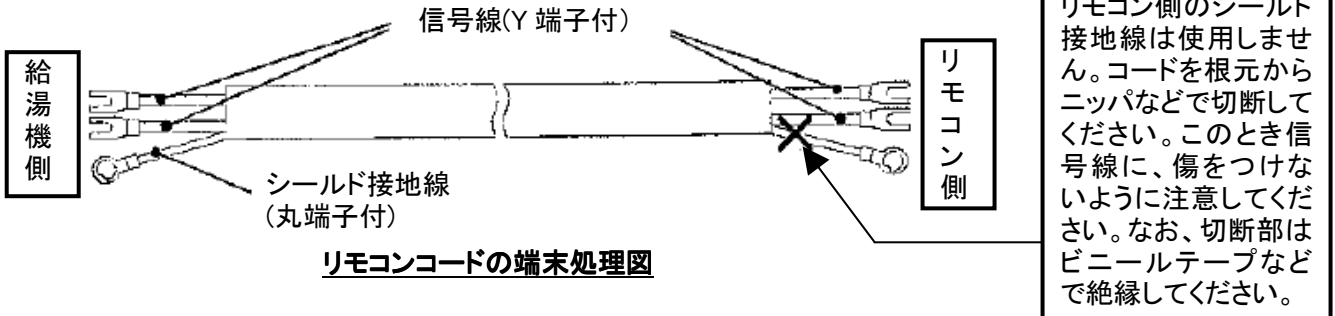


シールド接地線は使用しません。コードを根元からニッパなどで切断してください。このとき信号線に、傷をつけないように注意してください。なお、切断部はビニールテープなどで絶縁してください。

リモコンコードの端末処理図

2.その他の機種について

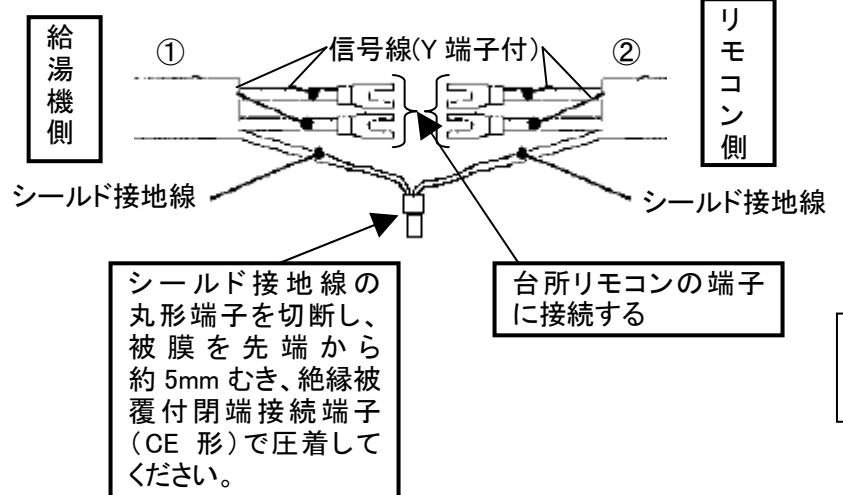
(1)給湯機側のシールド接地線を使用、リモコン側のシールド接地線を使用しない場合



リモコン側のシールド接地線は使用しません。コードを根元からニッパなどで切断してください。このとき信号線に、傷をつけないように注意してください。なお、切断部はビニールテープなどで絶縁してください。

リモコンコードの端末処理図

(3)リモコン線が渡り配線の場合(シールド接地線同士を圧着端子でかしめる)



シールド接地線の丸形端子を切断し、被膜を先端から約5mmむき、絶縁被覆付閉端接続端子(CE形)で圧着してください。

台所リモコンの端子に接続する

リモコンコードの長さの制約
 ① ≤ 30m、①+② ≤ 30m

リモコンコードの端末処理図